

エコアクション 21 とは

「エコアクション 21」は、環境省が策定した環境経営の認証・登録制度です。二酸化炭素や廃棄物の削減などに取り組み、取組の内容をレポートにまとめ公表することで、環境に配慮した経営ができていることの証明が得られる仕組みです。

また、環境への取組強化を通じて、コスト削減、業務改善、従業員の意識改革、組織の活性化、リスク管理など経営力の向上を支援する仕組みにもなっています。

エコアクション 21 の認証取得は、今後、多くの企業が直面する「取引先などからの環境への取組要請」や「コンプライアンスの徹底管理」、「持続可能な開発目標（SDGs）への貢献」、「ESG 投資への対応」など、様々な経営課題に応えることができます。

エコアクション 21 は、事務負担に配慮した取り組みやすい仕組みになっているほか、審査員が積極的に取組に対するアドバイスをし、環境経営の推進を全面的に支援します。

エコアクション 21 に取り組み、地域から選ばれる企業を目指しましょう。



▲エコアクション 21 ロゴマーク

エコアクション 21 に取り組むメリット

①ビジネスチャンスの拡大

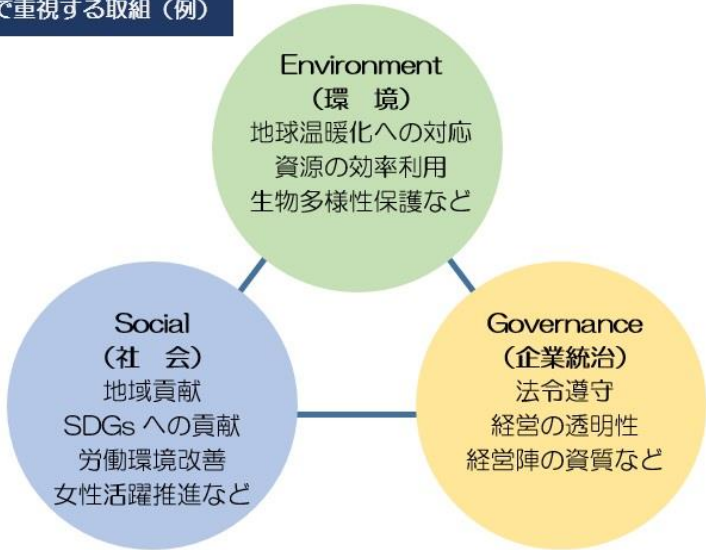
近年、事業活動に際して、資材調達から生産、流通、販売までの全過程における環境負荷の削減など、製品やサービスのバリューチェーン全体を見渡した環境への取組（バリューチェーン全体のグリーン化）が普及しつつあります。取引の条件として、環境への取組が求められることも増えてきているようです。

エコアクション 21 の認証取得は、取引先などからの環境への取組要請に十分対応できることから、ビジネスチャンスが広がります。

また、世界的に環境（Environment）・社会（Social）・企業統治（Governance）を重視する「ESG 投資」が広まっています。

投資家や取引先、消費者から選ばれる企業をめざすため、エコアクション 21 に取り組むことが有効です。

ESG 投資で重視する取組 (例)



②持続可能な開発目標 (SDGs) への貢献

2016 年に発効された 2030 年までに全世界で達成すべき 17 の目標を掲げた「持続可能な開発目標 (SDGs : Sustainable Development Goals)」。多くの大手企業では、いち早く経営戦略として SDGs への貢献に取り組んでいます。

また、企業の SDGs への貢献度を ESG 投資の判断材料とするケースも増えているようです。

エコアクション 21 の導入は、必然的に SDGs の一部の目標達成（「12.つくる責任つかう責任」、「13.気候変動に具体的な対策を」など）に貢献することに繋がり、企業の社会的責任 (CSR : Corporate Social Responsibility) を果たすことにもなります。

▼SDGs で掲げる 17 の目標



③社会的信頼の向上

エコアクション 21 認証・登録事業者として公表されるほか、環境への取組状況をまとめた「環境経営レポート」の作成と公表（環境コミュニケーション）により、社会的信頼が高まります。

④経営コストの削減

省エネ・省資源・廃棄物の削減などによるコスト削減はもちろん、作業効率・生産効率の向上や歩留まりの改善など経営上のムリ・ムダ・ムラの削減にも取り組むため、経営全般におけるコスト削減を図ることができます。

⑤経営力向上・組織の活性化

環境改善、業務改善、コンプライアンスの管理徹底、PDCA サイクル・全員参加、環境コミュニケーションなどエコアクション 21 を通じた総合的な取組により、経営力向上、組織の活性化が期待できます。

⑥その他エコアクション 21 認証取得によるメリット

- ・「優良産廃処理業者認定制度」の認定基準の一つに「環境配慮の取組」が規定されており、取組内容にはエコアクション 21 の認証取得も含まれています。認定を受けると、許可の有効期間が通常の 5 年間から 7 年間に延長されるなどのメリットがあります。
- ・自治体によっては、エコアクション 21 の認証取得が入札参加資格審査での加点対象になる場合があります。
- ・日本政策金融公庫をはじめ、多くの金融機関で、エコアクション 21 に取り組む事業者への低利融資制度が設けられています。

エコアクション 21 の特徴

【特徴①】取り組みやすい効果的・効率的な PDCA サイクル

事業者の事務負担に配慮した取り組みやすい継続的改善のための PDCA (Plan 《計画》→Do 《実行》→Check 《評価》→Action 《改善》) サイクルを採用しています。

【特徴②】環境経営レポートの作成と公表による活発なコミュニケーションと透明性の向上を促進

環境経営レポートは、取引先、従業員、家族などへ自らが環境に配慮した企業であることを PR するための最良のツールの一つです。環境経営レポートの作成と公表を通じて様々な関係者との対話を行うことにより、社会的信頼が高まり、自社の企業価値向上に繋がります。

【特徴③】企業の継続的な改善を支援する仕組み

認証・登録事業は、審査員により審査において様々な助言を得ることができ、効果的な継続的改善を図ることができます。

認証・登録等にかかる費用

◆維持費用のめやす（事業所1ヵ所程度の場合）

従業員数		初年度	中間審査 (2年目)	更新審査 (3年目)	中間審査 (4年目)	以降、 3年目、 4年目の 繰り返し
～10人	審査料+登録料	15万円	10万円	15万円	5万円	
11人～30人	審査料+登録料	20万円	10万円	20万円	5万円	
31人～60人	審査料+登録料	20万円～	10万円～	20万円～	5万円～	
61人～100人	審査料+登録料	22.5万円～	10万円～	20万円～	5万円～	
101人～500人	審査料+登録料	25万円～	12.5万円～	22.5万円～	7.5万円～	
501人～	審査料+登録料	40万円～	15万円～	35万円～	10万円～	

※5年目以降は、3年目・4年目の繰り返しになります。

※従業員数には、正規職員だけでなく、パート・アルバイト、常勤の役員も含まれます。

※消費税、審査員の交通費が別途かかります。

認証・登録は、2年ごとの更新となります。認証・登録事業者は、認証・登録の1年後に中間審査、中間審査の1年後に更新審査をそれぞれ受審し、適合と認められた場合は、登録時と同様の手続きを経て、登録の更新を行います。

エコアクション21について、詳しくは、エコアクション21中央事務局ホームページ (<http://www.ea21.jp/index.html>) を御覧いただくか、エコアクション21地域事務局さいたま（電話：048-649-5496）へお問い合わせください。